

■MicroGDS・SXF トランスレータにおける制限事項

SXF Ver2.0 に準拠した図形や図面の要素（フィーチャ）に、CAD ソフトウェアが適合しない場合は、制限事項として公開する必要があります。以下の表は MicroGDS V9.0 + SXF トランスレータにおける制限事項です。

MicroGDS・SXF トランスレータにおける SXF ファイルの読み込み、書き出しには、以下の制限があります。

条件	
作成	MicroGDS・SXF トランスレータにおいて、そのフィーチャを作成するときの制限事項
描画	SXF ファイルを読み込んだときの MicroGDS での描画・情報表示の制限
保持	SXF ファイルに記述されている情報を保持する際の制限

対応状況	
○	対応しています。
△	対応していますが、MicroGDS の機能により一部制限があります。
×	対応していません。

●図面構造

フィーチャ		作成	描画	保持	制 限 内 容
(1)	用紙	○	○	○	
(2)	レイヤ	△	△	○	作成・描画：名称の末尾に空白（全角、半角）は付けられません。 半角の"()*,:;?[]^{ }~は使用できません。 全角の・：；？`°´¨— - …… ‘ ” ±×÷≠≤≥∞∴ ♂♀°´¨℃* \$ ☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※→←↑↓∈ ≡≦≧≪≫⊂⊃⊄⊅⊆⊇⊈⊉⊊⊋⊌⊍⊎⊏⊐⊑⊒⊓⊔⊕⊖⊗⊘⊙⊚⊛⊜⊝⊞⊟⊠⊡⊢⊣⊤⊥⊦⊧⊨⊩⊪⊫⊬⊭⊮⊯⊰⊱⊲⊳⊴⊵⊶⊷⊸⊹⊺⊻⊼⊽⊾⊿⋀⋁⋂⋃⋄⋅⋆⋇⋈⋉⋊⋋⋌⋍⋎⋏⋐⋑⋒⋓⋔⋕⋖⋗⋘⋙⋚⋛⋜⋝⋞⋟⋠⋡⋢⋣⋤⋥⋦⋧⋨⋩⋪⋫⋬⋭⋮⋯⋰⋱⋲⋳⋴⋵⋶⋷⋸⋹⋺⋻⋼⋽⋾⋿⏞⏟⏠⏡⏢⏣⏤⏥⏦⏧⏨⏩⏪⏫⏬⏭⏮⏯⏰⏱⏲⏳⏴⏵⏶⏷⏸⏹⏺⏻⏼⏽⏾⏿␣␤␥␦␧␨␩␪␫␬␭␮␯␰␱␲␳␴␵␶␷␸␹␺␻␼␽␾␿␣␤␥␦␧␨␩␪␫␬␭␮␯␰␱␲␳␴␵␶␷␸␹␺␻␼␽␾␿ Uは使用できません。 256 文字まで使用できます。 ファイル読み込み時にこれらを使用している名称は該当文字が_(アンダースコア) に置き換えられます。 最後に空白があるレイヤ名は、空白を除いて表示されます。 空白を除いた名称のレイヤが既に存在した場合、区別のため末尾に\$SXF\$が付加されます。 レイヤ名が長い場合、問い合わせウィンドウを使用します。 元の名称は保持されます。
(3)	既定義線種	○	○	○	

●構造化要素

フィーチャ		作成	描画	保持	制 限 内 容
(1)	部分図	△	○	○	測地座標系には対応していません。 XY異縮尺の指定はできません。
(2)	作図グループ	○	○	○	
(3)	作図部品	×	○	○	
(4)	直線寸法	○	○	○	
(5)	角度寸法	○	○	○	
(6)	半径寸法	○	○	○	
(7)	直径寸法	○	○	○	
(8)	引出し線	○	○	○	
(9)	バルーン	○	○	○	
(10)	ハッチング(塗り)	×	○	○	
(11)	ハッチング(ユーザ定義)	×	○	○	
(12)	ハッチング(パターン)	×	○	○	
(13)	複合曲線定義	×	○	○	
(14)	等高線	○	○	○	
(15)	ラスター	○	○	○	